


基金だより

第2号（平成20年6月1日発行）



 北海道教育大学
教育支援基金事業実施部

学 長 か ら

北海道教育大学長
本 間 謙 二

皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。このたびは「北海道教育大学教育支援基金」にご協力いただき誠にありがとうございました。皆様のご協力を得まして第一回の奨学金授与を行うことができました。学部学生に対しては30人の優秀学生を表彰し、奨学金を授与いたしました。現職教員大学院生には18人に対して奨学金を授与いたしました。現職教員の大学院生をはじめ学部学生も授与されたことに大きな誇りを持っています。北海道の多くの方々自分たちを励ましてくれているという実感をいつも胸に抱いて努力していくとの言葉もありました。学生・大学院生にとっての意義は大なるものがあつたと心から喜んでいきます。多くの篤志家の皆さん、多くの企業からも暖かいご協力を得ました。札幌商工会議所では「どさんこ創生塾」を立ち上げていただき、会費を教育支援基金に充当して頂いております。北海道の多くの方々からご理解とご協力を頂きましたことは学生に対してだけでなく、私たち教職員にとっても大いなる誇りになりますとともに、本当の意味で励みともなっております。

「人が人を育てる北海道教育大学」を合い言葉に、地域人材の養成という本学の使命を果たして参りますので、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

大 久 保 理 事 か ら

北海道教育大学理事（基金担当）
大久保 和義

一昨年12月に現職教員の資質向上、優れた教師の育成、地域に根ざした社会に貢献できる人材の育成の促進と、現代的教育課題に関する研究支援を目的として北海道教育大学支援基金事業が設立されました。特に、現職教員の資質向上に向けては、本学では既存の大学院を充実させると共に、本年4月から現職教員大学院生を中心とする高度教職実践専攻（教職大学院）を開設し、これからの学校でのスクールリーダーの育成を目指しています。

さて、これらの事業目的を達成するため、私もいくつかの企業に寄付のお願いに伺いましたが、その趣旨をご理解してくださり、本学の教育への期待の大きさを身をもって感じる事ができました。現在まで、企業等40社、個人484人の方から募金をいただいております。

また、札幌商工会議所では本学との相互協力協定により「どさんこ創生塾」を立ち上げていただきました。地域を育てる、人を育てる、産業を育てるという3つの柱を立てて、事業に取り組み、本年3月17日に協定の調印式と特別記念講演会が開催され高向塾長と本学の庄井先生による講演が行われました。

本年1月に、この基金を基に第1回の事業を実施し、学部学生30名（5キャンパス2年生から4年生までの各6名）、現職教員大学院2年目18名の成績優秀者に対して奨学金を贈呈しました。また、小中学校教師のための「いじめ対応ガイドブック」を作成し、全道の小中学校教員全員に配布し、いじめ対策に役立ててもらっています。

頂きましたご寄付を今後とも有効に活用させていただきますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成 19 年 度 事 業 報 告

平成19年度事業として以下のとおり実施しました。

(1) 人材育成事業

- ① 大学院での研修に励む現職教員への奨学金支給
18名に対し、1人20万円 計360万円を支給
- ② 優秀な学部学生への奨学金支給
30名に対し、1人10万円 計300万円を支給



目 録 授 与

(2) 現代的な教育課題に関する研究支援事業

- ・ 支援事業 北海道教育大学いじめ対策緊急プロジェクト
- ・ 支援経費 要した経費の一部 306,188円を助成
- ・ 事業内容 北海道の小中学校教師のための「いじめ対応ガイドブック」を作成し、北海道内の小中学校教師に配布した。



基 金 の 収 支 状 況

平成20年3月までのご寄付の状況、支出の状況は次のとおりです。

(単位；円)

収 入		支 出	
個人からの寄付金	15,962,000	人材育成事業（奨学金支給）	6,600,000
法人等からの寄付金	11,343,000	現代的な教育課題への研究支援事業	306,188
「どさんこ創生塾」からの寄付金	2,270,000	その他（口座振替手数料）	30,310
		合 計	6,936,498
合 計	29,575,000	寄付金残額	22,638,502

奨学金授与者から

— 奨学金を授与されて —

【学部学生】

○札幌校 教員養成課程 3年 岸部 友里

授与の通知が届いた時には驚きと同時に、これまでの努力を認めていただいたことを大変嬉しく思いました。見えないところで私を支えてくださる多くの方々の存在を心強く感じ、感謝しております。皆様から込められたお心遣いや期待を受けて、教員を目指してこれからもいっそう勉学に励み、学生生活の中で様々な活動に取り組んで行きたいという意欲が改めて湧きました。ありがとうございました。

○札幌校 養護教諭養成課程 4年 濱田 忍

今回は奨学金のご寄付をいただきありがとうございます。授与の対象者に選ばれ、大変光栄に思っております。私がお実家を離れて札幌で生活を始め3年が経ちましたが、自らの夢を実現するため、また私を応援してくれる家族への恩返しのためにも、学生として今一番やるべきことである勉学に励むということ、私なりに努力を惜しむことなく行ってきたつもりでしたが、それがこのような評価を受け、形となったことを心から嬉しく思います。今回の奨学金の授与を自分の中でまたひとつの意欲へと変えて、これからも見守ってくださる皆様に恥じないような姿で頑張っていきたいと思っております。

○札幌校 養護教諭養成課程 4年 北川 景子

このたびは、北海道教育大学教育支援基金を奨学金としていただき、誠にありがたく、深く感謝申し上げます。今回のご好意を大切に、有効に使わせて頂きたいと思っております。

教師を目指し、学校という場において将来子どもたちと一緒に学びあえるよう、日々勉学に励んでいきます。そして、学校、家庭、地域が一体となり協力し、子どもたちと向き合っていきたいと考えております。今後とも温かいご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。

○札幌校 学校教育教員養成課程 平成20年3月卒業 世羅 桃子〔札幌市立上白石小学校 養護教諭〕

この度は、私に教育支援基金を授与していただき、ありがとうございました。皆様からいただいた奨学金は、学校保健関係の書物の購入に使わせていただきました。私は4月より養護教諭として札幌市内の小学校に勤務しています。毎日思いがけない出来事が起こり、反省と改善の連続ですが、周囲の温かい支えもあり充実した日々を送っています。これからは謙虚に学び続け、未来ある子どもたちの心身の健康の保持増進に全力を注ぎ、皆様のお気持ちに応えていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

○札幌校 学校教育教員養成課程 平成20年3月卒業 齋藤 真紀子〔札幌市立米里中学校〕

この度は北海道教育大学教育支援基金より奨学金を頂き、大変光栄に感じております。ご寄付をいただいた方々へ、心よりお礼申し上げます。念願叶って、四月より実際に教育の現場に立ち、未熟ながらも教員として子どもたちと共に過ごしております。未来を担う子どもたちを育むという責任の重さを、改めてひしひしと感じる毎日です。うまくいかないことも多い中で、ふと自分を応援してくださっている方々がいることを思い出し、それを励みにして頑張っております。本当にありがとうございました。



札幌校



函館校

○函館校 人間地域科学課程 3年 佐々木 典子

この度は奨学金を授与して下さってありがとうございました。

親元を離れ、初めての一人暮らしで、なにかと心細い生活をしていた1年生2年生時の努力が、このようなかたちで評価されたと思うと、大変うれしいです。まじめに勉強していたよかったと思えました。両親もとても喜んでくれ、大学に進学させてくれた恩返しを少しでもできたかなと思っています。

これからもがんばります。ほんとうにありがとうございました。

○函館校 学校教育教員養成課程 4年 二階堂 有加

この度はご寄付をいただき、誠にありがとうございました。奨学金を授与することができたことを大変嬉しく思うと同時に、日頃の努力が認められたことを光栄に思います。努力することができたのは、日頃からのお力添えやご指導をして下さった両親や周囲の先生方、先輩方の賜物と心から感謝しております。今後はこれを励みに、教員になるという夢の実現に向かって、より一層の努力をしていきます。

○函館校 情報社会教育課程 平成20年3月卒業 青柳 雅也(株式会社エヌイーシー)

奨学金を授与していただいたこと深く感謝しております。今回の授与にあたり、私の学業活動や地域活動への参加が評価されたのだと改めて実感した次第です。これに甘んじることなく自らを高め、社会に貢献することを目標に励んでいくこと、北海道教育大学教育支援基金にご寄付をいただいた方々を始め、大学生活を送るにあたりお世話になった様々な方に、この場を借りて誓います。ありがとうございました。

○旭川校 教員養成課程 3年 紫牟田真梨子

この度は、このような北海道教育大学教育支援基金を設立していただきありがとうございます。また、多くのご寄付をいただいた方々には心から感謝申し上げます。改めて、大学に通い、学べることへの喜びを感じています。

皆様の期待と温かさに支えられていることを忘れずに向上心を持ち努力していく所存です。日々学業に励み、また、良き教師になれるよう自分磨きにより一層力を入れていきたいと思っております。ありがとうございました。

○旭川校 教員養成課程 3年 原谷 佳那美

この度、教育支援基金から奨学金を授与させていただき、光栄なことと感じております。このことを励みにこれからも本学において、学業に励み、生徒、保護者の方々から信頼される教師になれるように努力していきます。また、今年度は、教育実習も控えており、本学で習得した教育に関する専門知識、技術等を現場に即して応用、検証するとともに、子どもの教育に関わる様々な知見や技能等、新たに発見し身に付けていきたいです。

○旭川校 養護教諭養成課程 4年 田丸 望

わたしは現在、以前にも増して、大学生の本分である学業や、その他、今ではなけりばできない様々な体験を充実して行うことができます。そのようなことに積極的に取り組むこと

ができるのは、北海道教育大学支援基金を授与された影響が大きいと思っています。これからも、将来の夢へ向かって、積極的に取り組んでいきたいと思っています。本当に感謝しています。どうもありがとうございました。

○旭川校 養護教諭養成課程 4年 長谷川 彩 姫

この度は、奨学金を授与していただきありがとうございました。

私は今、教員採用試験合格に向け勉強しているところです。いただいた奨学金を、参考書の購入や模擬試験の受験料等に充てることができたため、アルバイトをすることなく、勉強に集中して取り組むことができます。

今回の奨学金授与に励み、残りの大学生活も、目標とする養護教諭に近づけるよう、学びを深めていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

○旭川校 養護教諭養成課程 平成20年3月卒業 渡 辺 博 美〔観音寺市立一ノ谷小学校〕
教育支援基金支援者の皆様、奨学金大変ありがとうございました。優秀学生として奨学金を授与されたことは、私にとって大変な驚きであり、喜びでした。学業の大変な励みとなりました。

現在は、故郷の香川県で養護教諭として小学校に勤務しております。皆様のご厚意・期待に応えられるよう、これからも自分を磨き、子どもたちとともに学び続けてまいります。本当にありがとうございました。



旭川校



釧路校

○釧路校 教員養成課程 3年 佐藤 佳 奈

昨年度、私は北海道教育大学教育支援基金より奨学金を授与しました。今年私は大学3年目となり、自分の夢の実現に向かって毎日勉学に励んでいます。そして、このような整った環境の中で勉強できることを有り難く思っています。今後とも自分の夢に向かって勉学に精進していきたいです。ご寄付を頂いた方々に厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

○釧路校 教員養成課程 3年 菊池 嘉 之

この度、北海道教育大学教育支援基金から奨学金をいただき、誠にありがとうございます。私は日ごろから、学問と真剣に向き合ってきました。そのことをご評価頂いたことをとてもうれしく思います。今後も、奨学金の名に恥じぬよう自分に厳しく勉学に励み、子どもに共感し、共に成長していける教師を目指す所存であります。今後も、ご指導の程、よろしくお願いいたします。

○釧路校 学校教育教員養成課程 4年 小松代 好 美

今回このような形で奨学金を頂くことになり、驚きとともに感謝の気持ちでいっぱいです。この大学に入り、いつも今の子どもたちそして未来の子どもたちのために私は何ができるのだろう、と考えてきました。

その気持ちは今でも変わることなく、なお一層強くなるばかりです。

それを見出す為にも多くの文献を読み、そして子どもと直接触れ合い、今を過ごしています。

このようなことを十分に行わせて頂けるのも、今回の奨学金があつてのことだとも思っております。

今後も日本の教育の力になれるように頑張っていく所存です。
奨学金のために寄付をしてくださった皆さん、本当にありがとうございました。

○釧路校 地域環境教育課程 4年 野手 友里江

この度は教育支援基金をいただきありがとうございました。

大学では、専攻科目である社会学や、教育について、また釧路湿原をはじめとする道東の自然等、大学に入学するまで学んだことのなかった様々な分野について学んだことにより、知識が深まり、視野を広げることができました。

また、大学ではたくさんの先生や友人に出会うことができたばかりでなく、担当教員の紹介で、二年生の時から、他の大学の先生の研究のお手伝いとして釧路市役所でアルバイトをさせていただき、大学以外でも多くの方と出会うことができました。

釧路市役所では、今年初めて自立支援事業の一つの取り組みとして、母子家庭等の高校受験を控えた中学生のための勉強会が開かれ、アルバイトに通っていたことがきっかけで私もボランティアとして参加させていただきました。

このように、素晴らしい出会いや貴重な体験に恵まれ、大学生活の中でとても大きなものを得ることができたと思っています。大学生活も残すところ一年をきりましたが、今回教育支援基金をいただいた感謝の気持ちを忘れず、今まで以上に勉学に励み、卒業論文の制作や就職試験に全力を尽くしたいと思います。

○釧路校 学校教育教員養成課程 平成20年3月卒業 佐藤 治樹〔東京工業大学大学院 社会理工学研究科修士課程 1年〕

私はこの3月に釧路校を卒業し、現在、東京工業大学にて教育工学の研究をしています。学校教育を工学的な見地から分析し、授業改善に役立てる研究をしています。普通、奨学金事業は経済的に困窮している人を対象のものが多いですが、自分のチャレンジしたいことを評価し、積極的に応援してくれる本事業は非常に画期的なことです。本事業を支えて下さっている皆様に感謝申し上げますとともに、今後もより一層の勉学に励む所存です。

○岩見沢校 芸術課程 3年 古城 一樹

大学からこの奨学金の封筒が届いたとき、この基金について全く知らなかったのが、最初意味がわからず困惑したのを覚えています。自分にとって本当に励みになり、これからも頑張っていこうという意欲が湧きました。奨学金のおかげで、より充実した研究や勉強に勤しむことが出来ます。研鑽を積み、音楽で感動を与えられる人になれるように頑張ります。

○岩見沢校 芸術課程 3年 早坂 宣哉〔有限会社JICC〕

北海道教育大学教育支援基金にご寄付頂いた方々に深く感謝します。私は、大学に通いながら、社会人として民間企業で仕事をする中で、「価値」についてよく考えさせられます。この奨学金を授与されるだけ価値のある人間として、胸を張れるようこれからも益々努力して参りたいと思っています。そして、3年後には自分が、未来ある人材に投資出来る人間となり、この感謝を下へと繋げていきたいと考えております。ご寄付頂いた方々、誠にありがとうございました。

○岩見沢校 生涯教育課程 4年 伊藤 礼奈

この度は多額の奨学金をいただき、本当にありがとうございます。私の大学内外での勉強やボランティア活動等の経験が、皆様のあたたかいお気持ちにより評価されたことを、大変嬉しく思っています。このことは私にとって、大きな自信ともなりました。

これからも努力を惜しまずに研究と経験を重ね、自己を高め、この度の奨学金の真の価値を、未来の地域社会へと受け渡していきたいと思っています。

○岩見沢校 学校教育教員養成課程 4年 鎌田 ゆりか

この度は、私に奨学金を授与して頂き、誠にありがとうございました。

立派な教員になるという目標を掲げ、今まで懸命に勉強に励んできたことが、このような形で評価して頂いたことについて本当に嬉しく思っております。

しかし、この結果に満足することなく、きたる教員採用試験に向けて、これまで以上に努力していきます。そして、将来、日本の教育の発展に寄与することが、最高の恩返しと考え、これから教員になった後も変わらず勉強を続けていきたいと思っておりますので、これからもよろしくお願い致します。

○岩見沢校 学校教育教員養成課程 平成20年3月卒業 藤田 靖子〔藤女子中学校・藤女子高等学校 時間講師〕

このたびは奨学金を授与させていただきまして、誠にありがとうございました。これまで勉学に励んできた姿勢の大切さを、改めて実感いたしました。その姿勢は、これから触れ合っていく子どもたちへの教育に必ず生きてくるのだと思っています。みなさまの温かいお心遣いを大変ありがたく感じております。

春から教員として勤める中、いつも思い返すことは、道教育大で学んできた数々の生きる知識、そして自らがその知識を得てきた足跡です。今までのひとつひとつが決して無駄ではなく、子どもたちによりよい教育を授けていけるよう、これからも精進してまいりたいと思っております。末筆ではございますが、重ねて御礼申し上げますとともに、ご挨拶申し上げます。

○岩見沢校 生涯教育課程 平成20年3月卒業 馬場 佳奈美〔会社員〕

私は現在、社会人生活の第一歩を踏み出しています。学生の時には感じる事のなかった迷いや不安もありますが、決して下を向かず、誇らしく胸を張り、一歩ずつ前に進むよう努力できることは、大学生活の中で培った私自身の長所であり、学んできた成果であると思います。そして、支援をしていただいた皆様の期待を胸に抱いて、これからも尽力していきたいと思っております。ご寄付をいただいた皆様へ本当に感謝いたします。ありがとうございました。



岩見沢校



学長挨拶

【大学院生（現職教員）】

○学校教育専攻（札幌・岩見沢校） 札幌市立美香保小学校勤務 三木 直輝

四十代の後半になった自分にとって、大学院で再び学びたいという強い気持ちとともに、躊躇もありました。しかし、学校長をはじめとする職場の皆様、家族の理解と協力を得て、大学院で学び始めました。そこで改めて思ったことは、「学ぶことはいかに楽しいことか」ということです。加えて奨学金をいただき、現場に出た者が学び直すことを後押ししていただいたと感じました。学ぶ楽しさを子どもたちに伝えることによって、皆様へのご恩返ししていきたいと思っております。

○学校臨床心理専攻〔札幌・岩見沢校〕 札幌市小学校勤務 緒形 久仁子

不登校やいじめなどの問題も日常的で難しくなっていく中で、子どもや保護者との関わりで悩み、いままでの自分のやり方に行き詰まりを感じている教師も多くなります。私もその一人で、大学院での学びを現場で役立てることができればと入学を希望しました。この度、北海道教育大学教育支援基金より奨学金を授与していただきありがとうございました。

これを励みにさらに研修に努めたいと思います。

○学校臨床心理専攻〔札幌・岩見沢校〕 小樽市立稲穂小学校勤務 坂野 久美子

大学院での学びは、情熱と力を尽くし導いてくださった先生方をはじめ、日々励ましてくれた同僚や家族など、多くの人々によって支えていただきました。さらにこのたびの奨学金を賜りましたことは、多大な心強いご支援をいただいたように感じております。このように計り知れない善意の重さを糧として、今後の教育実践と研究に邁進する所存でおります。奨学金の授与に際し、ご尽力くださいました皆様に心から感謝申し上げます。

○学校臨床心理専攻〔札幌・岩見沢校〕 札幌市立北九条小学校勤務 氣田 幸和

この度、北海道教育大学教育支援基金の「大学院での研修に励む現職教員への奨学金」をいただく機会を得ることとなり、支援事業にご賛同いただいた方々、支援事業の関係者の方々に厚く御礼申し上げます。小学校教員としての仕事を続けながら大学院での学びに取り組む中で、今回いただいたご支援は、「日々の教育実践に生きる実りある研究」を目指していた私への大きな励みとなり、また、必要な研究図書や資料の収集に活用する等、研究内容を充実させるために大いに役立たせていただきました。

また、授与式の日に、関係者の方々と、「現在の学校教育とそれを取りまく社会の問題点」や、「学校教育と大学院との更なる連携の可能性」等について、間近でお話をさせていただくことができ、より広い視野から「教育」「研究」を見つめ直す貴重な機会も得ることができました。

「現職教員の資質向上に向けた支援」に込められた多くの方々の思いをこれからもかみしめ、この事業の発展を願いつつお礼の言葉にさせていただきます。ありがとうございました。

○英語教育専修〔函館校〕 伊達市立伊達中学校勤務 宮田 智文

1年目は、学校を休職し大学院に通い、仕事との両立ではなく、勉学に没頭することができ、貴重な時間を過ごさせていただきました。また2年目に入り、復職して、仕事をしながら修士論文を書かなければならなかったため、普段の授業と論文の両立で、頭が混乱することもありましたが、私にとっては大変よい経験をさせていただきました。その上、奨学金をいただけることになり、大変うれしく思っています。ご寄付いただいた方々に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

○社会科教育専修〔函館校〕 函館市立磨光小学校勤務 阿部 智

現在大学生として、総合的な学習の時間についての研究に取り組んでいます。総合的な学習の時間は、現行学習指導要領改訂時の目玉として注目されていた領域でしたが、素晴らしい実践が多く出される一方、課題点も多く示され、新指導要領では、時数縮減等、その扱いが変わってきました。

総合的な学習の時間のための新しい情報や研究・実践されている方々のお話を聞くために、昨年度は、学会や他県の研究全国大会、北海道内の研究会に出席しました。この度の教育支援基金より奨学金をいただいたことで、このように大変有意義な活動をすることができました。

ここで得られた成果を、教員として実践の場で生かしていくことが、奨学金をいただいたことへのお礼となると思います。皆様のご好意に感謝いたしますと共に、今後もこの基金が更に継続されていくことを願っています。

○学校臨床心理専攻〔函館校〕 北海道函館養護学校勤務 倉科 辰男

障害のある子どもや保護者の方々との関わりを通し研究したいことがあり、平成18年北海道教育大学大学院に入学しました。在学中は札幌キャンパスでの講義に出向いたり研究に関わる文献の収集したりと、研究にあたり思った以上に経費が必要でした。そのような折、奨学金を授与していただきました。お陰様で、自分のやりたい研究を十分に行うことができました。ありがとうございました。

○保健体育専修〔旭川校〕 北見市立下仁頃小学校勤務 奥山 るみ子

奨学金をいただけるとは夢にも思っていないことで、うれしさとともに身が引き締まります。大切なお金なので、有効に利用させていただくことに致しました。修論で画像処理に苦労しており、新しいパソコンを購入させていただき助かっております。

現在、小規模・複式の学校で担任をしながら、教頭職をさせていただいておりますが、学んだことを子どもたちや教職員に還元するべく努力していく所存です。本当にありがとうございました。

○国語教育専修（旭川校） 剣淵町立剣淵小学校勤務 岡 栄樹

この度、奨学金が授与され、ご寄付をいただいた皆様のご厚情に感謝いたします。私は、道教委長期派遣研修で本学大学院に修学しました。小学校教諭として16年間勤務し、久しぶりに学生として研究する機会をいただき、充実した日々を過ごせました。先日、いただいた奨学金で筑波大学附属小学校の研究会に参加し、国内最高峰の教育について学ぶことができました。今後も、道内の小学校教諭として、誠心誠意勤務していく所存です。ご寄付をいただいた皆様、本当にありがとうございました。

○英語教育専修〔旭川校〕 北海道遠軽高等学校勤務 藤根 淳一

『教育支援基金』の授与に関しまして、まず最初に関係各位の方々に厚くお礼申し上げます。現職として勤務しながら、これまで教科指導力の向上と、教育全般に関する広範で実践的な見識を得ることができました。私は旭川から離れた北見サテライト教室で学んでいるため、基金は専門書の購入だけでなく、旭川や北見への通学、東京や札幌で行われる英語教育の研究会・学会への参加等にも活用させて頂きました。今年度は修士論文が主ですが、地理的に不便な地域で学ぶ現職教員にとって、大変有り難い制度であったことを最後に申し添えまして、お礼の言葉とさせて頂きます。ありがとうございました。

○学校教育専攻〔釧路校〕 高等学校勤務 加瀬 利憲

この度、北海道教育大学教育支援基金を授与していただき、誠にありがとうございました。現在私は、高等学校で農業科教員をしながら大学院修士課程3年目学生として、学業を継続できる環境をいただいております。修士課程では、農業高等学校における農業後継者育成の現状や役割と課題に関する研究を中心に教育学を幅広く学んでいます。これからも第一産業を担う後継者育成のために専心努力し、支援して下さった奨学金を有効活用させていただきます。

○学校教育専攻〔釧路校〕 北海道幕別高等学校勤務 菊地 信二

現職教員として、教育大学院で学ぶことの意義をあらためて考えてみますと、修士号を修得することより、今抱える学校課題の解決や教員としての資質向上のために、どうしても必要な行動でした。

十勝サテライトは、担当する諸先生方の献身的な働きかけもあり、私たち現職教員の期待と要望に十分応えてくれていること、こころより感謝しております。

さらにこのたび思いもよらず、北海道教育大学教育支援基金まで手にすることで研究により専念できるようになったこと、心より感謝しております。

なにより書籍代は高額となり、生活費を圧迫していました。2006年度より財政難を理由に道職員の給与が削減され、生活も大変な状況に追い込まれていましたので、大学院進学は大変な勇気と覚悟が必要でした。もちろん家族にも多大な負担をかけていました。そんな中での奨学金は、涙が出るほど嬉しかったです。決して無駄にすることなく、研究成果が北海道ばかりか、日本の教育に貢献できよう精一杯頑張ろうと思っています。

本当にありがとうございました。

「どさんこ創生塾」のご案内

どさんこ創生塾は、北海道の教育再生を目指す札幌商工会議所の新事業です。

◆どさんこ創生塾の趣旨

どさんこ創生塾は、札幌商工会議所と北海道教育大学が連携し、教育再生と次代の担い手の育成を目的とします。ご負担いただく会費は「北海道教育大学教育支援基金」に充当されます。

◆どさんこ創生塾の事業の骨格

地域ぐるみで教育再生に取り組み、次代の担い手を育成する「どさんこ創生塾」の事業は北海道教育大学との連携による3つを柱に推進していきます。

1. 地域を育てる
 - ・特別講演会の開催
 - ・企業による教育サポーターづくりの推進
2. 人を育てる
 - ・どさんこ創生フォーラム（仮称）の開催
 - ・インターンシップ事業の企画運営
3. 産業を育てる
 - ・エキスパート派遣・出張講座の実施
 - ・教育大学の学生を対象とした各種調査の実施

◆ご入会について

札幌商工会議所では産学民協働による「どさんこ創生塾」入会企業、個人を募集しております。

ご負担いただく会費は「北海道教育大学教育支援基金」に充当されます。

法人会費：1口 100,000円 個人会費：1口10,000円

◆シンボルマークについて

絡み合うDとOが産学協力体制を表現。
またDはドアも表現しており、
本プロジェクトが新しい北海道の想像に向けて
開かれた扉であることも表しています。



【「どさんこ創生塾」に関するお問合せ先】

札幌商工会議所 部会・産業部
〒060-8610 札幌市中央区北1条西2丁目
TEL：011-778-0203 FAX：011-222-5215



ご 連 絡

◆ 寄付者のお名前の掲載

ご寄付をいただいた方々のご協力に感謝し、本学のホームページにご芳名を掲載させていただきます。

※ご芳名の掲載を希望されない方は、その旨ご連絡下さいますようお願いいたします。

なお、ご寄付をいただいた際に大学広報誌へのご芳名の掲載を希望されなかった方については、本学のホームページへの掲載はいたしません。

◆ 寄付者銘板

団体10万円以上、個人5万円以上のご寄付をいただいた方々のご芳名を、「北海道教育大学教育支援基金寄付者銘板」に刻み、末永く顕彰させていただきます。

※ご芳名の掲載を希望されない方は、その旨ご連絡下さいますようお願いいたします。

なお、ご寄付をいただいた際に大学広報誌へのご芳名の掲載を希望されなかった方については、「寄附者銘板」への掲載はいたしません。



構内環境美化（花壇作成）

【問い合わせ先】

北海道教育大学教育支援基金事業実施部

〒002-8501 札幌市北区あいの里5条3丁目1番3号

北海道教育大学総務部総務課

教育支援基金事務室

TEL:011-778-0204,0206 FAX:011-778-0631

E-mail:kikin@sap.hokkyodai.ac.jp

<http://www.hokkyodai.ac.jp/>